

もうすぐ統一地方選挙 #子育て政策聞いてみた 候補者政策アンケート

江東区長選挙に際し、待機児童解消をはじめとする子育て政策について、ご意見をお聞かせください。

いただいたご回答は、「候補者回答一覧」にまとめ、ウェブサイトおよびSNS (Twitter, Facebook)に掲載し、子育て世代に届けさせていただきます。

* 各項目に目安文字数を記載しています。各回答文頭から目安文字数分を抜粋し、まとめを作成いたします。

** 目安文字数を越える場合は別紙で回答全文を掲載します。

候補者名 *

えんどう 洋平

1. 待機児童について

江東区ではH30年4月時点の待機児童数が76名と区から発表されています。しかし、特定園のみ希望している人587名、認可外施設を利用している人569名、保護者が育児休業中181名、保護者が求職活動を休止している86名はこの中に含まれておらず、隠れ待機児童を含む待機児童数は1499名となります。さらに認可保育園の申込み自体を諦めている保護者も相当数いると言われており、待機児童には未だ多くの課題が残されていると考えられますが、待機児童についてのお考えや、区の待機児童対策についての具体的な提案をお聞かせください。

1-1. 待機児童を解消するためには現状の子育て政策で十分ですか。

はい、十分である。

いいえ。不十分である。

その他: _____

1-2. 1-1で不十分もしくはその他与回答いただいた方に質問です。待機児童解消に向けて必要と思われる政策は具体的にどのようなものですか。（目安文字数：150～200文字程度）

1. 保育園の新設だけでなく、潜在保育士の再就職支援や保育士の待遇・職場環境改善を行うとともに、家庭福祉員の大幅な増員と現行制度も見直す。
2. 大規模マンション付設保育所は、通常の行政ルールでは、付設マンション居住者に限らず、地域児童を平等に入所させる必要がある。そのため、不動産デベロッパとしては、物件の「売り」にできずに保育園付設を断念せざる得ない状況であり、非常に由々しき問題である。

特例として大規模マンション付設の保育所に、付設マンション居住者が優先入所できるルールを導入し、その代わりに平等性を担保するべく、優遇される居住者は応分の費用負担、または社会奉仕活動等で地域に還元する施策を講じるべきと考える。

2. 保育士の処遇改善、および業務の負担軽減について

保育士は他業種に比べ給与水準が低く、また日々の業務負荷が高いといったことから、資格を保有していながら保育士として働いていない潜在保育士が多く存在しており、各自治体／保育園では保育士の奪い合いといった状況になっています。

2-1. 保育の質と保育士の確保のために、保育士の処遇（給与や手当など）を改善することについて、考えをお聞かせください。また給与の引き上げを取り組みとして検討される場合は、どの水準まで引き上げるのが適切だとお考えですか。その場合は財源確保についてもお聞かせください。（目安文字数：150～200文字程度）

一昨年度から都が月額約4万4000円の給与補助（キャリアアップ補助金の上乗せ）を実施し、一般的には都内の保育士については幼稚園教諭などの月給と同水準まで改善されたと言われている。今後、財源確保の問題を考えると、まずは優秀でやる気のある保育士が更にモチベーション高く働きたくなるような評価制度・賃金制度・賃金テーブルがないため、早急に公務員保育士と民間保育士共通の制度創設と実施があるべき施策だと考える。

2-2. 使用済みのオムツ持ち帰り問題では、衛生面での問題に加え、保育士がオムツの仕分けをする負担があると言われていています。使用済みオムツ持ち帰り問題について、考えに近いものはどれですか。

- 園で処理した方が良い
- 保護者が持ち帰った方が良い
- わからない

2-3. 2-2の回答について具体的な考えをお聞かせください。（目安文字数：40～80文字程度）

そもそもオムツの「持ち帰り」は布オムツ時代の名残りの習慣にすぎず、時代遅れでナンセンスだと感じる。持ち帰り全廃は23区だけでなく全国的な趨勢となっており、江東区でも至急対応すべきである。現在、当事者としてスーパーや電車等での移動には、不衛生過ぎて多大なストレスがともなうことから、保護者側の費用負担は当然として、早急を実施すべきだと考える。

2-4. 保育士の労働環境改善について、その他区として取り組みたいことがありましたらお聞かせください。（目安文字数：80～100文字程度）

職場環境も長時間労働になりやすいことから、ルンバなどのような省力化のための設備・機器投資の予算を早急に組み込むべきである。

また、違う角度から潜在保育士の皆さんに働きかけていくために、ハローワーク・人材紹介業者と提携して進める「エクセレント保育士バンク」のような取組は検討の価値があると思う。

3. 幼児教育無償化について

4月3日衆議院で可決された子ども・子育て支援法改正案の中に幼児教育・保育の無償化（約8000億円）が盛り込まれました。この幼児教育・保育の無償化についてあなたの考えに近いものはどれですか？

- 無償化すべき
- 無償化は全入化が実現できてから実施すべき
- 無償化に反対
- その他

3-2. 3-1の回答について具体的に考えをお聞かせください。（目安文字数：100～150文字程度）

幼児教育の無償化は世界的に進んでおり、当然の流れである。ただ、待機児童が多く残る現状でさらに需要を喚起する政策は、優先順位を間違えていると言わざるを得ない。保育の受け皿整備と質の確保に全力で取り組むみつつも、今後も人口増加が続く江東区だからこそ、待機児童問題解決に向けた江東区独自の施策を早急に決定し、財源確保の問題を解決するべく、全力で東京都と国に対して実現に向けた交渉を行いたい。

4. 放課後事業について

現在、江東区では「放課後児童クラブ（学童保育）」がありますが、今後も需要がのびる傾向にあるなか、子どもの放課後の過ごし方について、利用者の希望に沿った施策が必要です。

4-1. 「放課後児童クラブ（学童保育）」の需要拡大に向けた施策について伺います。今後の方針についてあなたの考えに近いものはどれですか。

- 放課後児童クラブ（学童保育）の充実を進める
- 放課後児童クラブ（学童保育）以外の居場所
- その他: 学童保育充実もそれ以外の居場所の拡充も、両方ともに進める

4 - 2. 4 - 1 の回答について具体的に考えをお聞かせください。（目安文字数：100～150文字程度）

学童クラブについては、通い慣れた学校の施設を使える「江東キッズクラブ」を主軸に、受入可能枠を拡大していくべきだと考える。あわせて、「遊び」と「暮らし」の場だけでなく、元教員や地域住民が勉強を教える「学習支援」の場の整備にも取り組みたい。

5. その他子育て政策について

1～4の質問以外で、推進されている子育てに関する政策がありましたらお聞かせください。（目安文字数：100～150文字程度）

子育てという意味では、「保育（居場所の確保）」とあわせて、「幼児教育」について考える必要がある。幼児期の教育環境がその後の人生に決定的な影響を与えることが、諸外国の研究で示されている。行政としては、保育所・幼稚園・小学校での教育の連携、いわゆる「保幼小連携」をさらに進め、子どもたちの育ちと学びを促していくべき。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム